

激
鍛

2024年度 千歳市立信濃小学校 研究推進だより「はげしくきたえる」

＼はじまりますヨ～／

樺山プラン
文学的文章
こう進めよう

No.01 2024.04.16

樺山プラン、1つ目の文学的文章の単元です



昨年度の先生方に、1つ目の文学的文章の指導計画を作成していただきました。

さあ、樺山プラン始めよう！

でも、子どもたちも先生方も、やる気に満ち溢れつつ、
こんな気持ちもあるのでは…？



よしっ、がんばるぞ！！

でも、この山、
どうやって登れば
いいんだろう…？



今回は、意識的にやっていただきたい
ポイントをいくつかお伝えします！

「激鍛」では、5分で読める！をテーマに、
今日・明日からできることを
紹介していきます。
出勤直後や退勤前のお供にぜひ！

01

単元名を確認して、
指導事項を教師・児童でおさえよう

1年	「はなの みち」
2年	どんな おはなしかを たしかめて、 音読しよう
	「ふきのとう」
3年	登場人物の気持ちをたしかめ、 そうぞうしたことをつたえ合おう
	「春風をたどって」
4年	ふしぎな出来事をとらえて読み、 考えたことを話そう
	「白いぼうし」
5年	人物の心情や人物どうしの関わりをとら え、印象に残ったことを伝え合おう
	「銀色の裏地」
6年	視点や作品の構成に着目して読み、 印象に残ったことを伝え合おう
	「帰り道」

何を学び、どんな活動をするのか、端的に表されている

02

ラーニングマウンテンを印刷し、 ゴールを児童と共有しよう

大きく
掲示

ポスタープリンターなどで
掲示して、いつでも目に
触れるように

小さく
手元に

2年生 単元名【だいじなことに気づけて読み、わかったことを知らせよう】
教材名【 おにごっこ 】 全(12)時間

学習かだい (みんなで かいつつしたい とい)

あそび方が書かれた本や文章の中から、「あそび方」や「そのようにあそぶわけ」「そのあそびのおもしろさ」を見つけ、友だちにせつめいしよう。
【「あそび図かん」をつくらう】

学びのプラン

わかること・できること
ア 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
イ 文しょうを読んで、わかったことをつたえ合うことができる。
ウ 文しょうの中のだいじなことをえらぶことができる。

口考えること・表すこと
イ 文しょうを読んで、わかったことをつたえ合うことができる。
ウ 文しょうの中のだいじなことをえらぶことができる。

こ工夫して学ぼうとすること
エ じぶんが読んだり、友だちが読んで考えたことを聞いたりして、思ったことをすすんで話すことができる。

⑩ 書いた文のはっぴょう会をして、わかったことをつたえ合ったり、やってみたあそびをきめたりする。

⑪ 書いた文を友たちと読み合い、アドバイスしたり、書きなおしたりする。

⑫ あそびについて書かれた本をえらび、せつめいする文を書く。

第3ステージ (3) 時間
こんな学習をしてこんな力を!

たしかめ
イ・ウ

② せつめい文のきほんをたしかめる。

① ① どんなあそびを知っているか出し合う。
学習かだいをたしかめる。

第1ステージ (2) 時間
こんな学習をしてこんな力を!

たしかめ
ア・エ

⑨ 書いた文を友たちと読み合い、アドバイスしたり、書きなおしたりする。

⑧ おにごっこの新しい遊び方についてせつめいする文を書く。

⑦ おにごっこの新しいあそび方を本から見つけ、書き加える。

⑤ 「あそび方」と「わけ」「おもしろさ」を見つけ、ひょうにまとめる。

④
③

第2ステージ (7) 時間
こんな学習をしてこんな力を!

たしかめ
イ・ウ

この単元にかかわって これまでに知っていること・できること (前の学年や 前のたんげんまでに) 〇くらべて読む。〇じゅんじょや わけに 気をつけて読む。

B5 サイズに印刷して、教科書の表紙のウラに
貼り付けておくと、すぐ見ることができる

「最後に こうなるよ！楽しみだね！」

↑ この言葉がちゃんと届くゴールを設定したいですね ↑

03

振り返り（交流）を必ず入れよう

1人
30秒

授業の
最初

授業の
最後



どの單元にも「伝え合おう」や「話し合おう」などの交流にかかわる活動が位置づけられている！

「学んだことについて語る」に慣れ親しませておかないと、ゴールの活動でも語れない！

＼正直、あまり設定していないな…という先生方／

今日からやらせてみて！そして、やり続けて！

どんな言葉を使っているか、耳をすませて！

今までやっていないことを始めるのって、腰が重くなります。でも、今がその時！

04

モデリングを示して 苦手な子にも学びの手がかりを



できる子には工夫のチャンス
苦手な子には書きのヒントに



一年「ずっと、ずっと、大スキだよ」
より

◎あなただったら、となりの子にエルフが使っていたバスケットをあげますか。

【モデリング】

ほくは、バスケットをとなりの子にあげません。

どうしてかというところ、そのバスケットにはエルフの思い出がたくさんつまっているからです。

?必ず使う言葉はどれでしょう。

・頭括型（あたま型）の書き方

・ぶつこつかぶつこつかぶつかぶつかぶつか。

書けずにおわっちゃった…
が無くなるように



場合によっては、写すだけでも
書きぶりは身につく

書けなかった子の「書けた～！」は
何にも代えがたい経験ですね！

まとめ

樺山プランのスタートにあたって、意識してほしいポイントをお伝えしました。

- ① 単元名を確認
- ② ラーニングマウンテンの印刷と共有
- ③ 毎時間 振り返りを入れる
- ④ モデリングを示す



～今日の振り返り／1人 30 秒（～1分）の言語活動～到達目標～

低	•授業の感想（できた／できない／楽しい…）を話す。
	•学習／活動内容を話す。（何をしたのか。）
	• 学習にかかわる内容を、時間いっぱい話し続ける。
	～ノートを活用する（自分のノートを見ながら話す）～
	～ノートを活用する（相手のノートを見ながら聞く）～
中	• 新しく得た知識を話す。（何がわかったのか）
	•学習用語を正しく用いて話す。
	•学習課題とまとめについて話す。（何を学び、何がわかったのか）
	•得た知識の活用の仕方について話す。（具体的な例示ができる）
高	•一方が話す内容に合わせて、もう一方が質問（問題）を出す。 （問題がつくれる）

※何を話したかなどは交流しない。

※**教師自身も話してみる。**

※**まずは、黙らず、何かを話すところから始める。**

「え～っと。」「あれ、何だっけ。」
「あれ、上手く言えないなあ。」
「忘れちゃった。」でも、黙ったまま過ごさない言い方も教える。

学習の終わりに「ふりかえり」を話すことが当たり前にならないと子どもたちも「何を話すか考えながら聞く姿勢が身につかない。」

※まとめを話すのではない。

各学年で取り組むヒントとして、尾田先生より提供いただいた

「30 秒の言語活動到達目標」を載せます！